※令和４年度以降入学生用

学校番号	106

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	家庭基礎　自立・共生・創造　（東京書籍）						
副教材等	家庭科５５デジタル＋　（教育図書）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

家庭科を学習する中で、「協力・協働」「健康・快適・安全」「生活文化の継承・創造」「持続可能な社会の構築」の４つの見方・考え方を働かせて、私たちの暮らしと社会を見直してみてください。そして、自立し、共生して、より良い暮らしと社会を創造していってほしいと思います。生活上の問題点や課題を周りの人との協働により発見し、多くの意見を出し合い、改善方法を検討しましょう。たくさんの考えや意見から新たな「自分の価値観」を創り出してください。能動的・主体的な姿勢を持ち、授業やグループワークに取組みましょう。

２　学習の到達目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。

(2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。

(3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	生涯を見通す	1.人生を展望する 2.目標をもって生きる	a:人の一生を自分の問題として捉えるための知識を身に付けている。 b:生涯を見通した自己の生活について考え、課題を解決する力を身に付けている。 c:自己の生活の充実向上に向けて関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	定期考査	発表 提出物	授業観察 発表 提出物
	人生をつくる	1.人生をつくる 2.家族・家庭を見つめる 3.これからの家庭生活と社会	a:生涯発達の視点から、家族・家庭の意義、社会との関わりなどについて理解し、人の一生を自分の問題として捉えるための知識を身に付けている。 b:生涯発達の視点から、家族・家庭と社会との関わりについての課題を見いだし、その解決をめざして考察している。 c:家族・家庭の意義や役割、男女平等と相互の協力などについて関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	定期考査	発表 提出物	授業観察 発表 提出物
	子どもとともに育つ	1.命を育む 2.子どもの育つ力を知る 3.子どもとかかわる 4.子どもとの触れ合いから学ぶ 5.これからの保育環境	a:子どもの発達と保育について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。 b:子どもの発達と保育について、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:子どもの発達と保育について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。	定期考査	作品 発表 提出物	授業観察 地域交流 作品 発表 自己評価 相互評価 提出物
	超高齢社会を共に生きる	1.超高齢・大衆長寿社会の到来 2.高齢者の心身の特徴 3.　これからの超高齢社会	a:高齢者の生活について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。 b:高齢者の生活について、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え表現している。 c:高齢者の生活について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。	定期考査	提出物	授業観察 実習 自己評価 提出物

※令和４年度以降入学生用

	ともに生きともに支える	1．私たちの生活と福祉 2．社会保障の考え方 3．共に生きる	a:生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。 b:共生社会を成立させるための課題を見いだし、その解決をめざし社会の一員として何ができるか考え、工夫している。 c:共生社会と福祉について家庭や社会の一員として関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	定期考査	発表 提出物	授業観察 実習 自己評価 提出物
	1学期期末考査					
2学期	食生活をつくる	1．食生活の課題について考える 2．食事と栄養・食品 3．食生活の選択と安全 4．調理の基礎 5．食生活の文化と知恵 6．これからの食生活 ＊この単元の実習は2，3学期に実施	a:栄養、食品、調理、衛生、ライフスタイルと環境などについて実習・実践を中心とした学習を通して、その理論を科学的に理解している。また、健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。 b:食事と健康、安全と環境に配慮した食生活を営むために必要な栄養、食品、調理、衛生などの技術を、実習を通して身に付けている。 c: 食事と健康､安全と環境に配慮した食生活について関心をもち、それを築くための情報・知識を取り入れようと意欲的に取り組もうとしている。	定期考査 実技	発表 課題 提出物	授業観察 実習 発表 自己評価 相互評価 提出物
	衣生活をつくる	1．被服の役割を考える 2．被服を入手・管理する 3．衣生活の文化と知恵 4．これからの衣生活 ＊この単元の実習は、1学期に実施	a: 健康で快適な衣生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。 b:健康で快適な衣生活について、課題を見いだし、その解決をめざして考え適切に判断し表現している。 c: 生涯を通して健康で快適な衣生活､ライフスタイルと環境に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	定期考査 実技	提出物	授業観察 実習 作品 自己評価
	住生活をつくる	1．住生活の変遷と住居の機能 2．安全で快適な住生活の計画 3．住生活の文化と知恵	a:ライフステージに応じた住生活の特徴や、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解している。 b:住居について問題を見いだして課題を設定し解決策を構想し、考察し、論理的に表現するなど、課題を解決する力を身に付けている。 c:様々な人々と協働しよりよい社会の構築に向けて自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	定期考査	発表 提出物	授業観察 課題 自己評価 提出物
	2学期期末考査					

※令和４年度以降入学生用

3学期	経済生活を営む	1.情報の収集・比較と意思決定 2.購入・支払いのルールと方法 3.消費者の権利と責任 4.生涯の経済生活を見通す 5.これからの経済生活	a:消費生活と生涯を見通した経済的自立、経済計画・管理のために必要な情報を取捨選択する力を身に付け、生活設計を立案するための技術を身に付けている。 b:消費生活と生涯を見通した経済的自立、経済計画・管理、生活設計について、課題を見いだし、解決のための判断ができる。また、経済的自立に向けて考え表現できる。 c:消費生活と生涯を見通した経済的自立、経済計画・管理、生活設計について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	定期考査	提出物	授業観察 提出物 自己評価
	持続可能な生活を営む	1.持続可能な社会をめざして	a:生活と環境との関わり、持続可能な消費について理解している。また、持続可能な社会へ参画することの意義について理解している。 b:日常生活から持続可能性にかかわる問題を考えることができる。 c:一人の主体者として、社会全体をより良い方向に動かしていこうとする意欲がある。	定期考査	提出物	授業観察 提出物
	これからの生活を創造する	1.生活をデザインする	a:自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い、生涯を見通して生活課題に対応し、意思決定していくことの重要性について理解を深めている。 b:生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、課題を発見し、解決する力を身に付けている。 c:人生の目標を達成し、自分らしい生活が実現できるよう、各ライフステージの課題や生活資源、リスク管理について振り返りながら主体的に生活設計しようとしている。	定期考査	提出物	提出物 課題
	学年末考査					

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度